

学校経営方針

小学校教育の目的は、子どもたち一人一人の能力を伸ばし、社会において自立的に生きる基礎を培い、将来の社会を担う人間を育成することです。日々の教育活動では、生命及び自他の尊重を基盤として、基礎的な学力の確実な定着とともに考える力の育成、思いやりや規範意識の育成、体力の向上、生活習慣の定着を図っていきます。ポストコロナとなる今年度、教育環境を通常に戻し、「チャレンジ」を合言葉に、教育活動の工夫と改善を図り「一人一人が認められ、みんなが明るく、学び合い、充実感・達成感を味わえる学校」の実現に学校・地域・保護者と連携して取り組んでまいります。

学校経営の基本方針

1 子どもが楽しく登校し、喜びの中で育つ学校

- 授業の工夫・改善により、主体的、対話的で深い学びの実現を目指します。
- 体験的な活動・学び合いを重視し、児童の実感的な理解の促進とともに、自他を肯定的に捉える意識の伸長を図ります。
- 国語科を中心に全教科・領域で「聞く・話す」ことを重視し、自分の考えを深める指導や、算数科の少人数習熟度別学習、放課後・土曜補習などにより、確かな学力の定着を図ります。
- 特別の教科道徳、特別活動等を通して、自らの存在の大切さ（自己肯定感）を自覚させるとともに、他者との望ましい人間関係形成能力を育みます。
- 体育活動の工夫と「学校 2020 レガシー」の推進を通して、体力の向上とスポーツに生涯親しむ資質を育てます。
- 教職員が一体となった教育相談体制の充実を図り、スクールカウンセラーやサポートルーム、諸機関と連携し、児童の悩みを早期発見し、適切に解決します。

2 保護者から信頼され、安心して子どもを預けられる学校

- 学校の経営方針、教育活動等の情報を積極的に発信するとともに、保護者が学校の教育活動に触れる機会を工夫し、学校教育に対する保護者の理解を深めます。
- 日々の安全点検や、安全指導を充実させ、事故の予防を徹底するとともに、万が一の事故・災害の発生時には、児童の身体・生命の安全を第一に、迅速かつ適切な対応に努めます。
- 保護者の相談を受け止め、家庭教育への適切な支援を行います。
- 保護者会や、PTA組織の活動などを活用し、保護者同士が交流し、連携して、共に子どもを育てる態勢を整えます。

【教育目標】 人間尊重の精神に基づき、児童一人一人の個性や能力、創造力を最大限に伸ばすとともに、国際社会にたくましく生き、生涯にわたって学び続ける、人間性豊かで、調和のとれた児童の育成を目指して、次のような児童像を掲げ、教育活動を推進する。

- 考える子・・・基礎・基本を身に付け、主体的に自分の力で問題を解決し、未来を創る子
- 心豊かな子・・・思いやりの気持ちと協力する心もち、自分を大切に、未来を創る子
- たくましい子・・・様々なことに挑戦し、ねばり強く最後までやりとげ、心身を鍛えて未来を創る子



目指す児童像 「自分大好き、友だち大好き、ふるさと大好き」

3 地域に愛され、共に子どもたちを育む学校

- 学校の情報の発信等を工夫し、学校教育への地域の理解をより一層深め、地域と一体となって子どもを育てます。
- 「スクールサポート大四」と連携した授業等で、子どもたちに地域に対する感謝と愛情を育み、地域と共にある学校づくりを推進します。
- 地域自治会や関係機関と連携して地域の防災拠点としての機能高め、地域住民の安心・安全の確保に努めます。
- 「子どもが育ち、地域が集う」、教育環境の充実に努めます。
(90周年記念式典・祝賀会：令和6年1月27日実施)

4 教員が自らの職責を誇りに思う学校

- すべての教職員が、職務の崇高な使命を自覚し、子どもに対する愛情を基調とした質の高い教育活動を目指す学校組織を作ります。(児童理解)
- 人材育成等のための校内研修活動を一層充実し、教職員に学力向上をはじめとする多様な教育課題に適切に対応できる力を育てます。(授業力向上)
- 教職員が、個性や能力、経験等を最大限に生かして職務に当たり、互いに高め合い、支え合うことのできる組織を作ります。(組織として協働性向上)
- 管理職は、教職員の悩みや苦労を共有し、必要とされる適切な指導・支援を行うことで、安心して働ける学校風土を醸成します。(チーム大四の確立)